

和唐珍解

全



13
2947
10



13 10
2947
10

和唐珍解序

和唐珍解序

素聞崎乃敏糸華之地

景勝之郷也就中九

山寄合之間名妓多

高田

少而粧扮好了客貨

比他三估一估也我

們久思一遊馬万里

行路無奈今般唐來

三和作和唐珍解戲

文是私的大造化閱

一閱歡一歡未樂館

主人序




序

夫支那の地まろりハ漢ハ遊女ありしころ
五竺の貝多羅ハ街賣女色とわきの先
三田の二ぢりハ床柱ありよりあまを茶
海系ハ舞余ハ萌アサハ切といと出合
のりら穴あえやと五林七代五代系地

をりをかぞうあへん人代ありて伊勢
浮氏バトの物神ゆいも指切ゆい髪切のまてちくニ条
后ナニハ學マハおいら人の意い動ま代ちハえほ今や
まハ女メハまけハのりとりとわいせも後の
衣裳いをときせく大坂ハ揚あ屋がまぐた子自由
自在トの樂きとほり時トハあひく和漢ワの人ハ

大一老嗚りお月のまん丸山よひさひ
 卯うまの四角しやうかくな又字またじと唐たう来らい多た和わとら中ちゆう位い
 形かたちの男おとこあし申まをる贅ぜいのかきぬの外ほかあしと
 さりさ新あらたあぐ餘あまとあつと大おほあしとハ性しやうあ
 拙せつ我われ等ら語ご人にんありありあのかし
 四才山人

四才山人 

和唐珍解

唐来参和著

雲想衣裳花想容と清平調の詞乃美
 花貌とて不如容人老と不如花美あれた
 人人あれたを美れ初も余あまあしぬ仇あひの淳じゆん名
 をるが累かさねあけ色の丸山角とれと初はじとぐ
 圃ほもも吳ご玉ぎよくもわととぬ恵めぐみの道みちを嘲あざわらひ
 啖たん吹ふとと初はじととどめれの美人めいじん簾れん鉞げんの

如此依然不通網法とも打連さうかれ
らうられ婿を加入せ者中れ客からん

大明李踏天 李踏天 你們可回太公從者領旨李

明朝早些來我在這裏等候快些太公不

不可路上住脚 通詞和田藤内 多勞多勞從

太公不 かととびきり 李 你們等一等從 有何

貴幹季 休要賭錢 藤 崑崙奴 有些事故

不要太 崑崙奴 領旨從 明日再來迎接

うらうらうらう 藤 若者ハ居らんウラウヒ若く

若者 ハイく どうはさぬどうあてさぬどうい

後内さぬ田おんちんよふまきよとんぞく

と花下りちやれる李踏天ハ 李 沒規矩奴 藤

若ひ共さぬくそりりりさぬ子そはどふ

まゝののさぬの若人よはとの中つふちや

まろくはらとらとら 翻身便拜ととらひ

又撲地拜下をどくろく 天窓と比へり

あまゆゆくをれをがてんせぬよ若 若

でいざりゆ 若い大まふふ 細法 李得

罪我了我 饶不得他 崑 苦哉苦哉 藤 請

息怒他的不是了李 校帽的人下次再

須要小心此二卷 二階へおのりたる

終せせ 藤 請上来 空李 樓中有蜘蛛網

藤 蜘蛛の巣どくろく けいおのりとゆらち

若 若いまゆい 若いげりりまづく 若

ゆみりちとれせせ 藤 崑崙 崑崙 奴你跟著

我来 と若く 娼家へ入り 二のり 藤 李君且上面

坐了 李 怎心敢若 今晚は能いそく いらん

とちりゆ 李 初相見 藤 始とゆら

と押りしゆり若^{コウ}ハイ^{コウ}はありうらうらひざり
 向きてヤてもまうら一^{コウ}トすまめ入友
 なるよろしくはうけと藤^{コウ}ワリヤアどめで
 もりまよりらと^{コウ}侍^{コウ}るゆぐあらちより
 わさくきくめら押^{コウ}め^{コウ}が^{コウ}ら^{コウ}李^{コウ}哥哥^{コウ}那^{コウ}
 里^{コウ}公^{コウ}藤^{コウ}有^{コウ}些^{コウ}事^{コウ}情^{コウ}李^{コウ}公^{コウ}了^{コウ}来^{コウ}
 藤^{コウ}コ^{コウ}の^{コウ}ゆ^{コウ}でも^{コウ}あ^{コウ}の^{コウ}ぐ^{コウ}ら^{コウ}つ^{コウ}ま^{コウ}く^{コウ}き^{コウ}い

庵^{コウ}人の^{コウ}大明^{コウ}の^{コウ}李^{コウ}踏^{コウ}天^{コウ}と^{コウ}よ^{コウ}金^{コウ}持^{コウ}ど^{コウ}わ^{コウ}わ
 りの^{コウ}女^{コウ}帝^{コウ}の^{コウ}梅^{コウ}檀^{コウ}と^{コウ}お^{コウ}て^{コウ}く^{コウ}め^{コウ}い^{コウ}と^{コウ}ら
 らの^{コウ}め^{コウ}め^{コウ}く^{コウ}も^{コウ}し^{コウ}し^{コウ}り^{コウ}若^{コウ}ま^{コウ}ら^{コウ}と^{コウ}み^{コウ}ら
 こ^{コウ}の^{コウ}し^{コウ}ぬ^{コウ}藤^{コウ}コ^{コウ}の^{コウ}あ^{コウ}ら^{コウ}ら^{コウ}あ^{コウ}ん^{コウ}か
 ん^{コウ}と^{コウ}お^{コウ}ら^{コウ}せ^{コウ}ん^{コウ}ト^{コウ}合^{コウ}と^{コウ}ま^{コウ}若^{コウ}コ^{コウ}の^{コウ}あ^{コウ}ら^{コウ}ら^{コウ}
 ね^{コウ}ざ^{コウ}り^{コウ}は^{コウ}と^{コウ}シ^{コウ}テ^{コウ}押^{コウ}す^{コウ}人^{コウ}さ^{コウ}の^{コウ}い^{コウ}は^{コウ}る^{コウ}の^{コウ}あ^{コウ}り
 藤^{コウ}新^{コウ}造^{コウ}さ^{コウ}く^{コウ}若^{コウ}よ^{コウ}ら^{コウ}は^{コウ}ざ^{コウ}り^{コウ}す^{コウ}は^{コウ}あ^{コウ}る^{コウ}も

うすあひりでいざりはと藤まのこの

こぞでト友内いれ度あへまの秀秀たををがりのり友さんお出さん

うり李コウ個裡来コウ藤家トウとひともトウ秀トウららや

りやトウ味ミゲりミひ李トウ没モウ有ユウ可カ怕パ的テ事ス藤トウ

ア側ソバへりてらや李トウ掛住ツケ他タ秀トウア

モウ李トウ為タイ甚シ太ト使シ不フ得トフク秀トウアレは

ておらんなんーワを影とありさるま

李トウ休ヒ要ヤ囉ラ數スウ秀トウモウモウううああさんさんアアげげててり

李トウ休ヒ要ヤ跑ポウ脱トウ姐シ支シ面メン前ゼン不フ可カ告コウ知チひひ

若ニハちとるにのりすー藤トウううさんさん李トウ

哥カウ喫キツ一イツ杯ハイ李トウ好コウ了リョウああいいるるのの女メ梅ウメ槽ゾウぞぞ

もよみ出さんーた藤トウききららいいののりりらら

ぶぬ梅ウメナニナニ持チららううぶぶややアアおおごごんんせんせんらられれどども

李トウ這チ筒ユウ杯ハイ兒ニ奉ホウ献ケン娘ニヤウ子シトトはは不フ和ワ漢カンかかららししす

古コ丸マルのの海ウミりりととるるのの

暗り **李** 今日暴始相見新 **モシ** 全 **ゲ** かんとう

拙ウセ人どぞ **藤** をドめてお目おかつこ

とおいらへの挨拶 **さ** 若 **さ** ぞもかろのお

若 **さ** ぬあ **い** 叮 **寧** でいざりませ **梅** さん

ちかろも何と **拙** お **慈** 子 **い** ろく **あ** らく **お**

くん **かん** 藤 **せ** う **ら** く **初** 接 **高** 風 **不**

勝 **欣** 躍 **若** 蒙 **不** 鄙 **棄** 感 **謝** **不** 盡 **李** 這 **般**

殷 **勤** 折 **殺** 俺 **也** 若 **を** ん **ど** ろ **度** 者 **と** **中** **拙** **ら**

び **ら** か **い** 林 **さ** う **か** 拙 **ら** **い** ざ **り** **ま** ぬ **李** **敢**

問 **娘** 子 **尊** 名 **藤** 咲 **作** 梅 **檀** **李** 青 **春** 多 **少**

藤 **今** 年 **二** 八 **李** 衣 **裳** 齊 **整** 容 **貌** 嫵 **致** 生

得 **出** 塵 **土** **藤** 當 **時** 名 **妓** 數 **一** 數 **二** **李** 多 **麁**

得 **名** 妓 **真** 正 **多** 謝 **得** 緊 **若** 忍 **な** ぐ **ら** **何** 系

と **ち** と **ら** ん **ど** 海 **せ** う **藤** 仕 **客** 奉 **敬** 一 **杯**

哩^リ梅^メソ^ソ二^ニ葉^エお^お的^テを^をと^と屋^ヤお^お兎^ウア^アイ^イ李^リ満^{マン}麗^{レイ}

一^イ盃^{サイ}藤^{テン}と^とり^りかり^{かり}ほ^ほげ^げと^と新^{シン}せん^{せん}て^てく^くあ^あら

ち^ちの^の香^カ氣^キの^の酒^{シュ}が^が後^ゴふ^ふお^おざ^ざん^んせ^せく^く若^ニせん

比^ヒ出^デて^て後^ゴ申^{マシ}た^た新^{シン}禮^{レイ}の^の比^ヒ宿^{シュク}な^など^どふ

か^かさ^され^れま^ます^す藤^{テン}々^々切^キ慶^{エイ}子^シら^らい^いひ^ひの^の奇^キ合^カ

所^所へ^へ申^{マシ}の^のぢ^ぢせ^せく^くい^いく^くよ^よ梅^メま^まあ^あぞ^ぞも^もお^お出^デ

ち^ちん^んせ^せく^くぬ^ぬ藤^{テン}と^とん^んぢ^ぢら^らい^いち^ちん^んく^くり

かん^ニ李^リ娘^ニ子^シ喫^キ炯^{キョウ}藤^{テン}者^{シヤ}か^かく^く女^メ吊^ヒへ^へけ^け

さ^さし^しも^も何^{ナニ}の^のぢ^ぢで^でへ^へと^とれ^れお^おい^いし^しん^んた^たを^をこ^こを

吾^ワと^とさ^さ梅^メゆ^ゆい^いあ^あん^んー^ーと^とん^んか^かり^りと^と云^ウかん

と^とさ^さ藤^{テン}吸^{スイ}ほ^ほと^とお^おて^て吾^ワと^と援^{エン}と^とさ^さら^らせ^せ梅^メ

又^マつ^つけ^けかん^{カン}せん^{セン}く^くら^らよ^よみ^みお^おざ^ざん^んと^と李^リ藤^{テン}内^{ナイ}

哥哥^{カウ}敬^{キョウ}你^ニ一^イ盃^{サイ}藤^{テン}ど^ども^もけ^け酒^{シュ}の^のち^ちと^と其^シ口^ク

ど^ども^もそ^その^の子^コア^アノ^ノ供^{キョウ}給^{キョウ}屋^ヤへ^へい^いく^くく^くら^らん

がうふそふりうくお糸のほがのるもら
 ぶらうおくさや 赤アイ若 只おふ
 ぶらふ海でいざりませう 藤おこ
 ぶんぐおんれを幕がぬくぬく
 の那箇四角酒快些将来といふと合手進
 太 あとら何とら いとら よとら 赤あ
 子 こら 新おハニおふぢやあ縁く

コか 赤おれ ごら ても おく くら
 ぶらも いと れか せん 若 上役 子う ぬく
 ぶらも 何も いと 縁く おれ が いら て おく
 て 来よ ふ より わら い を い 如 命 青柳 菘さん
藤おん ご 青 た ぐ 梅 青柳 さん お ま い ん
 ちん ー 青 アイ ト と ぐ 菘 さん こ ら が
 おん ハ お せ ま ん せん へ 藤 吳 三 桂 り

らふまゝにいつたれども用が何のともて
あぬ入よにやうど流うしあひよ梅
たをことまひんー青アイ藤毛庵人
でもアリヤアお勇ぶくくがうてこさよ
のぢやるれ青よーあんーまごま藤ハ
井ういひかさんか何れも八九年
流うくくくくくくくくくくくくくくく

如融黄の馬とりのハッレおめくさよー
うあれも回奉れ云流とそえくおめくも
唐寺をおむるやどの久しん別庵
庵乃あんさんあも何くわくわて書合
とあううとらあゆのいあうととと
あやア流くよ青ぞあひらあひせん藤
ナニきくあひめがのあひアノせんこう

の白しろひとかざりきめるがさなむのよかけ
青
はむの河かわがらせしうかけバコバコかき家
らんらんかきこきらんらんらんらん

新アイ藤アあやまらんらんらんらん
こころぐんけん人うてれくわらん
すこ機こ縁えんがワラひ青ナニ人よかまふ

ゆ李藤カウ哥フウ不可捕ウ口宜ヒ襄ヤ得チ緊キ藤キ請ツ
藤哥不可捕口宜襄得緊藤請

怒イ請イ怒イ。ソシらんらんらんらん
季カ俺カ的ス性ス

兄ル不フ喜フ歡フ閑ヒ動ト只チ喜フ歡フ閑ヒ靜ウ新ヒかんど

やん藤フてめんまゆらんらん
新ヒらんらんらんらん

藤サ青カ柳カさん一ハ杯ハをぬく
藤青柳さん一杯をぬく

認シ得シ他タ麼マ季キ我ワ竟キ不フ認シ得シ他タ藤フ吳ウ三サ桂キ

的ツ妾ツ也エ季キ敢カ領リ尊ソ孟ホ青イらんらんらん
的妾也季敢領尊孟青らんらんらん

あらんらんらんらんらん
梅ウあらんらんらん

まろゆさんいよく何のらまをせとりかん

とぞ我し李酒壺酒壺藤在在ツライク

何いしてあり錦州何てくんかんアレサ

だすんく揮くかんとりやアアふ藤ハテ

そそハ張どり志れぬ人錦ホいかんにも

あつぬ事とつた。今夜いよくまきん

ふぬ藤サア下に居ぬ人ツやアく

藤何れハせんど咄した李端天といふ毛色

人さ錦へ五、ひく人よモシゆらつ子お目よ

かろりヤ志んした李掲今日天色好錦

とぞぞそかろりらんくも出出かん

李阿阿酒醒了此錦さ中う心青ホハ

海別さんそりやアまアあんの事とぞく錦

あぞく藤ゆきもあまうりがてんがゆらぬか

らだすわくく笑てぬがさるのハぢき
ひび錦 マア笑あんなあめさるらげぬこと
葉とかけいしき色白ざまやらひ
あんとくうあてげうやうにぞめぞは
おあんなしとひいたくアア何うひと
やういあんなをかうさやうさとしひ
うが遠いいたく藤さながらうさま

さ梅 扱してぬハあんとしひあんな
のどおざんさく藤 せんさん人か
子のき葉とかけさ紙笑つけぬく
福さふらめ能う楽とり何とりま
どいぞにわあんなア、碎がさあとい
た後さあんのりぞら移らうりおろい

三子 笑甚麼休要咲話我藤 休要

徳精コトサキのコレらんふりくハ福くがりくよめくの

るかす押のうくけ毛びーがあつてふ

了リウ 敢問カンモン笑甚スミヤクニ麻マ 此ココ妓好キイカウ咲得サキトク 李リ

新来的シンライ在個裡テウライ頑要ワウヤウ則ソク箇青コウセイ 孫ソン 那ナ さん

家カ 何ナニ 錦キン アイアイ 若ニハ サア

以イ 園エン とのりくありまーた新シン ヲヤ

いりぢくくまかんーたぬく梅ウメ その中

小居コイ られいあんごぬく藤フジ あらうれハ蝶テフ

蝶テフ られが蝶テフ その次ツギ のハ蛇ヘビ 青アヲ さそれる

ひげそりくぬく藤フジ 何ナニ 一イチ らぬお

さ李リ 硝子シウジ 透亮テウリョウ 了リウ 好看コウカン 錦キン は酒サケ とマア

吾オレ あんどうのウ 禿カド モア けりケリ

やせこころいおのひくさう天井テンキョウ

のりもあうさうさういねく青アヲ ナニを

かじしいぢりやアめ家底ごりふ李リ我喫ワケ

酒出酒鐘藤ツユウキヨウツユウキヨウ酒成ツユウよらみちりくを

出しやツ赤セキアイどきよ人梅ウメこの子もち

ちりりてへりめり引ゆみゆるるふ

赤セキアイト引ゆよりらふと知チ李リ最好ツイハク且ツエ

請試用ツインシヨウ一盃香氣イツパイカウキ妙極ミヤウキツク藤好フジヨウ了リウ青セイころん

ちやア一すりりてさいせう何れぬ李リ再サイ

坐咲談錦ツラサヤウタンとんちりゆまきこらいく

青セイバアバアく藤フジさるサこんどの青セイホホハハ

ト多ひあくりゆてり藤フジ不但香氣フツタニヒヤウキ好味ヨウミ道絶ダウツツ

妙ミヤウ若ニヤウけ酒ケサウを女メ高タカ尻シガのびとむせうに

世ヨの者人モノがかとゆく成ナリといふ事コトでい

ぶりゆせぬり新シンおオハのびめくよ李リ相サウ

火来ヒライ藤フジそれ火ヒりあひとよ赤セキアイ李リ小コ

此コノ拿ナ来ライ不フ要ヤ多トヒイレイヒイレイ錦キムヤ

厨クでもあの百ヒャクハ火ヒいれといひどろ移ウツく

藤フジ何ナニ日ヒ幸コトれニままふふととままんんト

いふのぶ若ニぞれいりく火ヒをいけくおり

ふ子コ統トウとりリにキやテ移ウツ梅ウメア、ままふふと

おぢくあんをかうめんさかまひくさるま

移ウツくウツ移ウツ藤フジナニニああのの厨ク人ヒトああままののああままのの

はドめてあまかしく名ナの先サキでりく

いりれてもまま移ウツ李リ俺オレ岩イハ日ヒ認ニ得トク那ナ

个コノ娘メ子コ藤フジ錦キム那ナさんおめくままののまま

ががおおめめんんままののわわりり錦キムいいくく藤フジムムままと

けけ中ナカ儀ギ茶チャ屋ヤつつれれままのの時トキおおめめんんが

まませせふふわわささううままののだだらら梅ウメナセ

ああららくくハハ移ウツああんんせんん藤フジ鶏トリををめめと

こふからうてえつるるて無る物子に
まがきのどぐろ藤て替れうう面同
かぐらうて終終く登うがうか中りさ

李キハアクツサメキツ喫キツ糞フンヲヤラキツちやこふ

庭でもほト事ぶ終く藤フジひとりてま

出る物ぶうう日トるさ李リハアクツ

サメサメ那箇ナカノ説セツ我事也ワカコトナリ藤フジ先マサ初ハジメそぶでりる

くつみののとらさめもゆめてとらめと

るりので李リハアクサメサメ傷風ケフウ不耐ナイ頑藤クワンフジ是シ

不好フコウ了リョウ羽織ウヰとねひて李リ多謝タカ多謝タカ量リヤウ

尺正シツ有ユ了リョウ分寸フン不フ錯ソク了リョウ真マコト正マコト相像サウゾウ子コ錦キン

ヲヤ羽織ウヰと着キかん一たかさらハよくやく

さんサン子コ似ニくクてテ藤フジ福フクとハ福輪フクリンまが

事コトうウ何ナニれレハハ我ワをヲ人ヒトとト李リ像ゾウ不フ像ゾウ比ヒ一イチ

此者藤 ヒイカニ どりたりたる今のあはるばかりなれ

李 リ 娘子休 ヒイウ 西女客套 セイニヤウケウタウ 藤 トウ 何さん ナニサン

若きん子とるなりとて リツキコトルナリトト 揃 ソロ けのぞ 結 ユヅル 李 リ

喫此酒 キツスビウツ 麼藤 マトウ 他是淺量 タマシウツヤン 李 リ 愛的甚 アイタイシ 麼東 マウトウ

西藤 セイトウ 最愛 ツイアイ 彈唱 タンヤウ 李 リ 藤哥 トウカ 彈絃 タンケン 藤 トウ 請免 ツイメン 錦 キン

かんごらん カンゴラン 藤 トウ おれまご味 オレマゴアジ せんとひ セントヒ けと

よ新 ヨシン 彈 タン かん カン 一錦 イツキン コレニ コレニ ぶとこの ぶとこの 三味線 三味線

とがしや トガシヤ 新 シン サア サア ひま ヒマ めん めん 一藤 イツトウ ぶも ぶも ひ ひ

しく しく ひら ひら 結 ユヅル へり へり へり へり へり へり へり へり へり へり

り り けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり 苦辞 クジ 不脱 フダツ 李 リ 又来 ユイ 自負 イツツク

了 リヤウ 揃 ソロ モシ モシ りり りり ね ね 唐 タウ の の 唄 ウタ と と 彈 タン て て 夕 シユウ を を

らん ラン 藤 トウ けり けり りり りり 結 ユヅル へり へり へり へり へり へり へり へり

かよ カヨ けり けり けり けり けり けり けり けり 一更 イツケイ 裡 リ 天 テン 一更 イツケイ 裡 リ 天 テン 月 ツキ 照 テウ 紗 サ 窓 ウマ 人 ヒト 也 ヤ 未 メイ

眠被襖兒寒凍得渾身上腫我的我的肝肝

我的心肝何處貪花撒下了我撒下了

我在花街上闖李越更感激錦錦

折んでしまひり移梅梅つとををかじ

めとんごめ李唱得妙端的是聲清韻

美字正腔真另外好聽藤藤夜人ひとり

わめふやうと新それより藤藤それでは

酒をかろて笑をあん藤藤それでは

まことの川が袂がたれぬくくしてぬる

錦ソリヤアようふやうんさア藤藤おんあう

おふまうふび中中何れが浮後野そのど

ひくく藤藤おふとてとてとてそれなり

ふひて梅梅おんれハ又とらり

でうけがとれんともあ新新あんでもア

かろくきりせん藤何ふとらんを
 儀鏡の影塔り場子とちう季快些唱
 来藤又個子と日月互明懸配天豈偶然
 浮雲有覆失光年幼王母后堪憐似梵
 囚可傷鳥永井右馬頭宜明領命囚監
 若モもつとさぬるかゆあせん
 藤三桂若さやうてはざり

ます季那箇来了藤三桂的季他也
 来得好梅号れさるの之味せんどく
 くらげや恋アイ錦ころちやアいつて
 きらせ藤ナセマア拵びあせく
 我等兩人老早到這裏等
 候先生先生却如何焦地来遲了
 飛地似奔将過來了越急越不明
 白列

位ツイ早サウ至キ等テイ久キウ了リヤウ恐ウ懼コン不キ過フツ悔フツ今キン夜ヤハ終シユウ

かカいイんン一イツたタ呉ウ子シ福フ蘭ラン那ナ廂ヤ坐ツク呉ウ列リツ位テイ

在サイ這エ裏リ我キ豈イ敢カン占チ上エ坐シヤ青シヤウ今キン

夜ヤハ一イツつツらラ思シガカ吹フくクらラよヨくクきキんン一イツたタ

のノ呉ウ僑キヤウ居キ冷レイ淡タン過コウ日ジツ如ニ年ニヤウ了リヤウ青シヤウおオんンでデ

ふフんン一イツたタのノ久キウ大ダイくクそソんンかカみミでデあア

くクいイまマんンとトあアくクうウとトあアくクのノ一イツ小シヤウ

生ス小シヤウ淨ジヤウ浪ラン之シ徒テイ不フ勝シヤウ戀レン慕モ所シヨウ以イ特テイ地テイ走シユウ

將ツヤ過コウ来ライ青シヤウソソッッヤヤあア合カ所シヨウのノみミ久キウ一イツ俺ガ

曉キヤウ得テイ你ニ今キン霄シヤウ因イン有ユウ此シ障シヤウ礙アイ却キヤク来ライ這ジヤウ裡リ戲キ

弄ロウ我ガ青シヤウ一イツつツらラあアんンかカみミとトあアんン一イツかカ

たタれレもモあアんンせセぬヌ一イツ莫モ説シヤク慌ワウ李リ彼カ

此シ難ナン辨ベン可カ否ヒ一イツ我ガ自ジ心シン裏リ裏リ曉キヤウ得テイ不フ今キン夜ヤ

差サ不フ多タ好コウ了リヤウ一イツ信シン不フ得テイ若ニク今キン晚エンハハよヨいイ

と我ツクニヤ異キツノツ心スレシテ様ハ久ク不相見チカラフ若シ

マアマワウウてマウウはハセセウウてテ新ニ異ニ

さんサ孫ソ本ホのノ小コ人ニ島シマとトりリウウてテおオ出デかカん

一ヒトたタるル人ニ藤フジ小コ人ニ嶋シマとト新ニイイ、イ工クノノ花ハ

簞タテのノ引ヒ出デしシてテ心ココロをヲかカしシるル異ニ

一ヒト雨アメ日ヒ内ニ拿ニ来キ了シ新ニオオもモたタまマしシるル人ニ

とトうウかカ異ニ不フ敢カ説セツ謊コウ請ツク勿ク生シ疑ニ禿ツおオいイるルハ

小人島も何もつらぐ手長嶋子あり

てくよ禿ナヤ禿言コトひヒあアくクゆユりリとトぎギひヒり

はハ政セイやヤ何ナニもモとトらラふフかカしシるル異ニ少セウ

妓キ是シ有ユ伴バン要ヤウ相ソウ托トク之シ事コト藤フジ是シあアるルをヲよヨ

ぶブぜゼ禿ツアア異ニ拿ニ茶チャ来キ青アヲおオ桑カウとトあアげゲや

異ニ温オン々々的テツ好コウ不フ要ヤウ大ダイ熱ネツ藤フジぬヌるルひヒがガウウ

とトよヨ禿ツアイアイトトまマるルかカりリてテアアハハイイ肉ニクあアらラるル

藤ツツ從家ツツ癩出ツツ甚ツツ麼ツツヨリツツ友ツツさるけあうらとと

きこは出あされませんツツの藤ツツ後ツツ新ツツみか

まけてととツツ吳ツツ常ツツ常ツツ壯ツツ健ツツ藤ツツおかとももあ

うとととツツヨリツツハイツツ何ツツりかツツてツツみツツごツツごツツごツツらツツうツツまツツす

李ツツ要ツツ與ツツ波ツツ女ツツ々ツツ陪ツツ話ツツ青ツツモツツシツツをツツ解ツツみツツあツツくツツふ

とととツツヨリツツハイツツごツツよツツごツツそれツツかツツくツツおツツ目ツツとツツくツツけ

られてくツツごツツごツツりツツはツツーツツおツツ鬼ツツ茶ツツとツツ鬼ツツハイツツモツツシ

とととツツみツツらツツらツツうツツとツツはツツ茶ツツとツツおツツてツツめツツくツツりツツはツツー

たツツ藤ツツどツツれツツくツツ家ツツ々ツツよツツとツツーツツやツツヨリツツはツツ膳ツツのツツま

ごツツうツツ新ツツイツツ、ツツ玉ツツヨリツツらツツらツツのツツあツツりツツぬツツどツツれツツら

てツツせツツらツツけツツのツツくツツあツツうツツよツツハイツツ後ツツりツツどツツてツツら

藤ツツ吳ツツ哥ツツ一ツツ盃ツツ喫ツツ得ツツ大ツツ醉ツツ也ツツ好ツツ吳ツツ宿ツツ酒ツツ未ツツ

醒ツツ請ツツ免ツツ請ツツ免ツツ李ツツ要ツツ和ツツ你ツツ化ツツ拳ツツ吳ツツ這ツツ樣ツツ事ツツ

尤ツツ好ツツ請ツツ李ツツ哥ツツ在ツツ對ツツ面ツツ坐ツツ則ツツ箇ツツ禿ツツおツツハツツ

又ようや **李** ツチカイキニヒヤウサイコウリイシヤウ 走開去 のけく 休要在 こまめて 個裏纏繞 まよあのふよ

青 コレ せよ 系 のらうとあえんさぐらやふ

李 一。五。十。兩。七。無 **吳** 四。九。三。バ。六。二 **那** リ 裡了 **梅** モ 之 あ れ

をりりの日 **李** れと何まうららぐの移へよや

おせんぜんら **藤** せんふ 藤 生かしくあ

お **吳** ツ 我 カ 不 フ 敢 カニ 當 タニ **李** ツ 錯 コ 過 ウ 了 リ 氣 キ 苦 ク 不 フ 送 ツ

はあへ 若 ち と お こと **藤** あ れ ハ

あ へ さ ぐ ら ざ ア あり め **吳** チ 衆 キ 皆 ヤ 個 イ 裡 リ 来 イ

若 ぞ あ も い も さ ー い げ の ぢ の ば ざ り を せ

李 ツ 調 ウ 理 イ 好 ハ 甚 シ 麻 モ 東 ト 西 ス 都 ト 好 ウ 喫 イ **藤** ツ 把 イ 官 イ

路 ロ 當 ウ 人 ツ 情 イ 没 モ 什 シ 麼 モ 款 ク 待 テイ 有 ウ 罪 ツ 有 ウ 罪 ツ **吳** ツ 半 ン

東 ト 感 カ 激 キ **藤** ツ 李 リ 踏 ム 天 テ 葱 ソウ 菜 サイ 猪 チ 兒 イ 怎 ニ 麼 モ 様 ヤ **李** ツ

是 ス 大 ウ 明 メイ 了 **藤** ツ 料 リョウ 泥 ニ ぐ ら と ら と ら や め ぬ

よ 今 ら ら ら タ ア ニ ニ リ ヤ ウ と ら ら ら

てふ日をさへいふのと同じゆゑに **若**

おれは何うかへいふはさすもあらん

何も何だかおはいざりませぬがその牛

の何んけが張をでさうりはさす

せでいれざりませぬ **藤** いうはさす

新 牛兒煮了吃更妙燒的

滋 味不好 **藤** 失陪請飯 **李** 要喫 **若** 鶏の

血のそのりくにはざりはさすあらしの

ハ羊れ **お** ざりませ **呉** 先生飯桶

新 又來弄舌 **新** モシ口のんこみせん

はがつくわやさよ **李** 講甚麼 **新** イ

李 字子中ん **李** 越鏢越生我也厭了

這 **個** 鬚髮 **藤** てめんが何ぞんよとかけ

かゝ **母** のゆゑに **李**

莊客吃一杯如何チヤニカシキツイツホニ 他是海量タカクニ 李突了リヤツ

青和ぬどんそれ海と吾みんーとさ若アヲニ

ハイ何りがさういざりますツツイ 李賞發他ツツイ 藤フジ

ソレ花とくさるるとさ若ツレハナ 若ワカ 若ワカ 何り

がて山孫ヤマノ あうーそれいあんでいざりま

と藤フジ 報海ホウカイ ぶよおれがやうーおてまや

りでも金とたうてやうう若ワカ ハイそれ

い何のぐさみさざりゆと藤フジ コしくおさか

例の海タカクニ 二并フタヒ さるあご若ワカ ホニニとさうで

いざりはーとさうゆ梅ウメ ヲヤをかし

いありぶさみ皆みな ハニハニ の美ミ あまりおびさすとすり

あんどうれすめらと藤フジ 李リ 什麼ニシ 了リヤツ 承ウケ ヲヤニ

あんーけ人ヒト いりど海ウミ ささうらよ青アヲ

けーかゝ縁縁 若ワカ 若ワカ 若ワカ とおし

た トある 李 スズニスズニ 先生 シヤウ 是 モ 什 シ 麼 ヤウ 了 ウ 矣 ウ 我 コウ 也 エ 不 フツ 知 チ

李 ジ 藤 トウ 内 ナイ 是 シ 什 シ 麼 モ 東 トウ 西 シ 藤 トウ ぶ フ ん ン ぶ フ く ク と ト ろ ロ

て テ 安 アン 入 ニ 申 シ れ レ も モ ら ラ び ビ ん ン と ト ぞ ゾ 日 ニ 本 ホン 頭 トウ

巾 キン 新 シン ぶ フ ん ン 一 イチ 級 キウ の ノ 階 カイ び ビ 目 メ と ト は ハ じ ジ

ら ラ 入 ニ て テ 解 カイ め メ ん ン と ト ろ ロ ぶ フ 若 ニク ぶ フ ん ン ぶ フ ん ン の ノ も モ

た タ ま マ ず ズ ら ラ ぬ ヌ あ ア ん ン へ ヘ も モ 入 ニ り リ 度 タク あ ア ら ラ せ セ ま マ した

李 リ 好 コウ 這 テ 一 イチ 頂 テイ 新 シン 頭 トウ 巾 キン 初 ハツ と ト あ ア る ル の ノ 下 カ で デ び ビ じ ジ 青 セイ

ヲ ヲ ヤ ヤ ど ド ん ン せ セ ら ラ の ノ み ミ か カ が ガ ん ン あ ア ん ン 一 イチ た タ 藤 トウ あ ア

き キ も モ ら ラ ぬ ヌ ら ラ ぶ ブ ら ラ あ ア い イ か カ ら ラ 日 ニ 本 ホン 丸 マル 階 カイ 巾 キン

ぶ ブ と ト ら ラ ら ラ ら ラ ら ラ ら ラ ら ラ ら ラ ら ラ 若 ニク モ モ 之 シ 友 トモ 友 トモ 友 トモ

お オ が ガ み ミ ます ス 守 シ 押 オシ 入 ニ 一 イチ あ ア ら ラ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ

ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ

ら ラ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ ち チ ら ラ

李 リ 這 テ 个 コ 頭 トウ 巾 キン 甚 シツ

麼 モ 價 ケン 錢 セン 賤 ケン 則 ソウ 我 ガ 也 ヤ 要 ヤウ 買 バイ 藤 トウ 價 ケン 金 キン 三 サン 兩 リウ 二 ニ

分フニ季キ價キヤウ錢ツシ賤シ藤フ爲ヲイ什麼ニモナ季キ奉ホニ獻ケン大ダイ明メイ皇ワニ

辛テイ藤フこぞらひも云々年と申すアノ人

どしと賞さうせ若き人ご事ご

ニテ何より申す藤園へおていりて

あうらのちまへ致とゆふらりとよ青

りかみでも季我強買了好好説一

声藤何れとひりに賞といふが返出ーと

いふのさうさうして仕とる秘人季

怎麼樣准不准藤備細説知他説道現

金賣不賤的季算還價錢トかこころより

好枉費了錢財藤サアく若若は

今ハかなうけごせ若きれでも藤十二サ

かまふの秘人らくア金をバ

すのさうかいがわ若ハイく季買着了

すのさうかいがわ若ハイく季買着了

利市リイブク 藤 ぶいりちそよろこぶりふ人とちや

あしこせんきこい梅ほひぞ糸具 崑崙クワンロウシ 奴ヌ

在那裡来吃酒サイナライキツツウ 藤 いらさぬらんがうめ

とまへよんぞちとほとのまをせてささ

がせう青あんぞ蒸カク がぶらんぞうへ具

他是手藝タハニウニイ 極多專キウタセン 做幫閑過日シヤウバウケンカワヒ 梅ウメ 何と

とつととく藤フジ かりりぞがまりの地ツチ ぞよ若ワカ

思オモ へけのぞんませぬよんでまのマ せう

悉シツ ころらがうくまのせうト 梅ウメ かり

こさあしひりの舞臺マウダイ であせとあ

かし障子シヨウジ とあけてんあんー藤フジ それが

よろろろ。花この三味せんサミセン ととらつてよ

こしや新シン アイ 李煎個燭リエンコウ 心再明亮シンサイメイリョウ 此三青ココサキナヲ

らう花くのまんマン ときれとさ若ワカ ハイあつ

らんをすせう。らん 崑崙奴 餘外有什麼

客人若太拘禮我要辞了不敢去 ア

サとらでらおさんせんよんそめん

くらごかろとよのよんそめん

終く崑那里那里黑地裏是個難走 亮

一ふ子きまん。サアもんかん 崑有

何事情 李 来来喫一杯崑感激不盡 藤

ぐらと大きおと何とせらぐ

呉儘着飲得真個大海量 新 とめく

マゴとせてえかん 若 マア あ びでさ

かさひて何れソレお 敬 季異様好看

藤你做輕捷 崑 領肯 ト ぼ ソ び マ び マ び マ び

三味せんが 呉 娘子們 這 技最有趣 請 看

一 着 青 せん せん さん さん さん さん と と と と と と 梅 伊

季タカ大カニ丁キ係イ得エツ緊キニ具ユウ有ウツ趣ツリ得リ了ヤ不ツ得ツ藤フジ衆シユ

位イ請ツク唱カフ采サ梨リ妙ミヤウ極キョクくクをク仕シとトてテ又マタえエのノ所トコロをヲさサりル

若ニハあアるルあアりリとト押オシさサれレりリとトおオでデはハざザりリまマ

とト中ナカくク月ツキ奉ホウれレ人ニあアりリとトあアらラせセるル出デ来キませセ

ぬヌみミでデはハざザりリはハとト梅ウメこコらラちチやヤアアあアぶブ

あアくクてテろロくクにニもモふフせセんンとト新ニヒりリとトおオ

りリろロうウんンとトぬヌへヘ崑クワン阿ア阿ア疲ヒ倦キ藤フジ多タ勞ラウ

多タ勞ラウ免メンアアレレんンあアんントト比ヒ人ニハハ鼻ハナのノ下シタとトりリ

とトあアでデさサらラちチあアらラまマ藤フジあアれレハハ今イマのノかカりリ

りリとトのノきキ極キョクさサ日ヒ奉ホウでデハハ何ナニぞゾのノ勢セイとトかカ

でデらラがガ危イきキでデハハ何ナニぞゾとトりリあアらラせセるル鼻ハナのノ下シタれレ

ひヒげゲあアらラせセるル梅ウメけケーーかカらラぬヌ季キ再サイ喫キツ酒シユ

具ク滿マン瀟シヤウ崑クワン没モク道ダウ理リ季キ豪ハウ傑キツ勉メン強キヤウ若ニハせセんン

とトんンつツとトぬヌほホでデはハざザりリまマ守シ具ク使シ賭カ氣キ飲イン

使シ賭カ氣キ飲イン

リヤウハウユウハハリヤ
了好個海量此等歡喜事難再有
めんと女のちやうどよ

新 アレきこ移入人ハ鼻くそととつて

者さうろふさ河まかりよ皆ホハ藤あのをさけ

とのんごう又おごうとおごうせう青

どんかおごうでおごんご入藤は出目卒

の踊とおご入とつらおがおれより

りつそとれがおごかおがらやおごりが

ようろうとおごりつてあもももその

あして文句をりつららのさあ

ておごこおごよ楠こつらんご藤お

さしやしてえせう崑崑崙奴来做戯文崑

領旨トのる李楠什麼了藤他是一味裡用

い字日本小曲好了好了ま

三味せんといひく崑いまんの海まのそのまの海

い。まゝいんごはれのそのまのさぬよ藤小曲差

了。雲ヤマシの柳ヤマシのその樹キのさぬハ如斯唱ウタ崑クワンい

きびるまのそのまのさぬハ。如此ニヒト也ハ不フ差ツ麼マ

藤コト元ワ自リ差リ了リ季キ大オホ醉ツイ酩メイ酊テイ古コ頭トウ也ハ不フ肯ケン

轉マシ且ツ罷ハ休ヒ了リ吳ウ使ス得テ了リ青セイモシ何ナニのノやヤア

ちゆまのゆづりとりひきとちやアおせ

せんり藤羅羅羅羅らふ國よ身身波波邪邪ちや

ひろあどくひあまが歌うたしてあるあるこまこまうう

ゆいおどろくどかしくかぢらやおどろりとも

いの又またちゆひろか踊うたとらあぐまととは人ひとかつひ

あやまらしてちやまのゆづりとりふのさ

新新モモシシ何ナニのノ人ひとのの脊せ中ちゆうれれぢぢららくく白しろひ

ハハああんんごごゆゆざざんんととくく藤藤アリアリヤヤアア今いま夜や久く矣や

とどろりらぐでさんで息いきとゆりして

が居るのふ**藤**どれ出してんせうや**禿**ヲ、
 らとらうてくすぶ子でむざんと**梅**モウ
 目があのこり**呉**什**モ**麻**モ**ろ**ウ**青**シ**ね**シ**づ**シ**の**子**で
 びざんと**李**請**ツ**一**ソ**看**カ**藤**フ**ん**セ**ろ**ト**よ**禿**こ
 つらやアワや**梅**お目ふくけや**禿**アイ**新**
 それあげて**藤**どららぶ**若**たーりころら
 りうく**鼠**鼠**鼠**兒**在**這**裡**

梅ヲヤ**呉**休**休**做**做**没**没**良**良**心**心**的**的**事**事****鼠**美**美**味**味**い

新けーか〜移くけ人らら〜つ〜よ**若**
 あも〜とん〜い〜でいざりいあ〜**禿**モウ
 あ〜の人〜せろ〜人〜が〜ん〜ん〜てら
 つ〜な〜ゆ〜と〜**藤**か〜る〜ん〜ん〜ん
 どおれが〜の〜を〜て〜さ〜て〜や〜ろ〜よ**李**
体物**事**動**不**動**要**癡**呆**鼠**鼠**ゲエ〜く〜く〜

若 カニ これいざふりきりそうをいばなりませ

藤 マア 藤 カ 下へつれてりりり青せあり

とさ キ しくらせくる 美 去せあり を たくくと 氣 の首まると 後 をはき 如 きて

吳 嘔吐 季 是 醒 配 得 緊 若 く び い ぬと

終 の ど い ひ り け い そう で い ば たり

中 寸 崑 硬 碑 咬 不 碎 新 こ ろ ち や 胸 が

り く あり い 飛 り ま い ざ り 今

ので き ん で き 中 へ り 藤 あ ま り 酒 が

よ ぎ たり い 氣 と ろ り あり あ げ り

す り かり モ ウ り け い 痛 う ず が あり

若 ホ ニ ニ き い め い あり い ち り あり

ち り あり い サ ア く つ れ て ま り ま

せ う 崑 崑 崑 崑 奴 大 房 裡 罷 崑 多 兼 厚 款

感謝 不 盡 列 位 安 置 若 サ ア く 一 あり

うむせんとくをとりて **李崑崙** 奴這厠 **跟跟**
踏踏 的 **太了也** **好笑** **藤** くらんがうで大
笑ひとーした **モウ** 何何 **り** 上腰の振付 **モウ**
九 **の** **お** **の** **ぞ** **呉** **夜** **深** **了** **李** **我** **也** **倦** **了** **此** **二** **吳**
角 **落** **頭** **房** **裡** **太** **睡** **一** **覺** **也** **好** **夢** **若** **さ** **て**
今をんへのうくとおのりーあひまをこ
ました。ちとあらうくうらうらあやり

まー **藤** ぶらうらうら **吳** **太** **了** **太** **了** **若**
是 **子** **も** **え** **海** **く** **お** **つ** **も** **た** **ー** **や** **青**
あはさんついでまそのくまをさびんとあ
つらくおきて **新** **ア** **イ** **李** **那** **里** **耶**
里 **禿** **サ** **ア** **出** **あ** **ん** **ー** **是** **よ** **う** **三** **人** **た** **床** **と** **り**
と子と嫁ての **新** **友** **さん** **ら** **う** **ら** **と** **耳** **と** **出**
あんー **藤** どれも **ア** **セ** **と** **あ** **ん** **ど**

新フやな新フ、エ子マまご中リりて流ルやあ子
りぐおまごてゆるかろおろしんののちほまらん
あうせめてヒあまのヒとまごころいおめり
さんエおまごころとくれろとらひあし
藤フソリヤアそれであらうらうらと
火ヒとこつおてまごころりや新フ火ヒうぬく
とくアイほのぞふ茶チゆらんできんササ

り藤フム、それも一ハらん新フらんできん
せうトえてお事シ踏フ天テンのヒをヒあすて
的テキ昆虫クウ猶ユウ雙シュウ飛ヘイ鳳フウ蝶テツ上下ジヤウ不フ失シツ偶ウ才サイ貌ボウ
相サイ携ヘイ俱キ有ユウ情セイ 兎ウ菘シュウさんく何ナニのヒ絲シ
おろしんのマお人ヒトぐさうたうらニヤニツウ
ニヤニツウとまごらんーさぐ絲シまごらぬ
たごまごマととして何ナニうあうせんとが何

のちぞうらうらと心知あん藤ムそ
 ちやアおらうんとあぶといふゆぶ禿ア
 おはあんー何ういふそ大さうか髪で藤
 ドレ 蝶也亦何知菜有味鳴呼俺不
 知趣他没深情藤ム ありやアふらら
 ちうさうきうささうふのぶらあや
 つの禿うららやうてさうもりのく

藤ム、禿お中とこあんー新進あり新

サアおあんあんー藤何りかく新モシ

それもどううり唐秀のゆうじゆ藤十二

唐秀でハカニキとつよ新モシどよどろ

らふとらうんとちと押入てらんあは

藤むいぶんく新さうれああんー

らん何んはり遠くゆくゆうどねアレ

とマア押くくくらんあんー藤 アレもむ

つーしのさダアぬガニニのロニジ

どのサイナこどのとらてぬぬめやア

さくられぬ新 十二めんとうのとおし

あてらんあんーつらそぬ書知て

あんどおてあてらんあんー藤 おく

まててゆううき代りよぬぬんよぬん

かたのまひくくられらる新 あめとく藤

おひらん子かくしてぬぬとやらてさせ

ゆへ新 アレさるちやアりや藤 りやふ

らさく入くゆへさぬくたりやアあ

ゆへ新 アレサ モウよりあへてささる

つがらふアリ ちりくく梅 かくあさんく

らうりて

新 アイ 梅 室人ちりうとこさあへー新 アイ

ト立てり屏風の 新 アイ 巻燵の久梅 さら

と引くく 新 アイ 十羽をい知て羽せん

をり後と梅 梅 マヤけあつの子後と

とさりさふお忌あへー。何とらんあま

後と立あへして 梅 梅も志あへせん

藤 梅人さけぐし梅をさるる梅

ちりへの梅子あるる梅 ナゼエリウチ

かひの子どめも 藤 マどよもまけ

あるめ入 梅 ナゼエあるのさし中も

海りソレアノあハ画踏 夜と梅さる

とらふあぶり 藤 マキヤアガレ画踏衣

裳ハアノ 梅 梅じちあふさるけり

りうそれぞ 今 梅 梅をういてつり

叶いそ程もめいとあふとはあ
福くくそれよらるほめて梅す
あんーそれよらるそ何のまめハ
たんでも福くあ子ありそつー
あ〜切てあめハ〜せんて人あめ
あ〜めーがあまが何らまららよつ
ま合のあんのとりあハ階よりより合

町子ありらるるでもあめころう藤
そんあ〜あ合町へつけばおれと長
梓ふしてつれ出してあまよよといふ
のう梅どよいをかうらふとツリヤア
ぬーが程んといふおご藤程をざらあ
アあうだら女の心ハあれ福く梅
引とせコレぬーハ藤あまがあらるそめさ

梅 アイ糸がらぐらぐらこのさよりくほめら
てんあんーぬーが若あう窠出まとの
長押のとのふあもおせんせうられた
かうして昔方常をうして人の目
顔とまのんであふ中トヤアおせん
りハテ突出まうあうおひつさんといふ
おうさんのおとまりつかりして**藤**かう

ちてどふーた**梅**はあんーされりあ

トおまの介へ**藤**はと新マうちでもせんす
おろろあま

梅そんあういよまおそんさーた**藤**まお
ておりのハあんご**新**おらんげせん巻
の匂いとらがりあんさかう下のねん
の茶花香とおてらうてそらとすりえ
てきんした**梅**度人のモウ藤云どもこて

いあんすら新十二巻の乃具をかざるて
かろんの上よはてわまんし
わろくこころ
天りうこそ

季白日地等到幾時娘子
ハクニツチテイテニ
タウキキスウ
メヤツツ

人那裡太公娘子
ニニケリイキヌイ
メヤツツ

有何貴幹季梅檀那裡太公
ニニケリイキヌイ
メヤツツ

季藤哥
テニカツ
コ

ホイ
皆

坂

九州郭中れ五人
クウシュウカクチュウ
ゴニン

の二人を加く七人
ニニヒトヲカフ
シチニン

あつけも時
アツケモトキ

らん其ころは
ランキコロハ

東の人乃
アキノヒトノ

実乃合の
マツノカヘノ

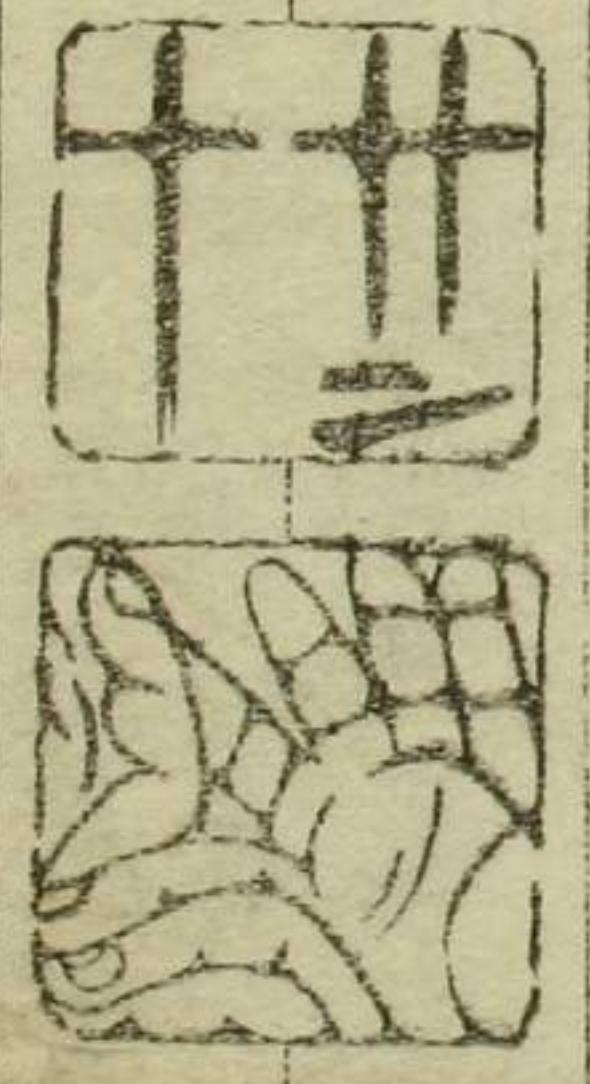
羅ハ物
ラハモノ

もろくしきつ風土の風俗もぞろ
 と小葉れも水をはすんぞ孫かん
 かん隅の耳ふ強りしむと中丸山
 唯すろくれと母のひね子向ひも
 方こふ葉の誤りれは味さげとま
 何らんくと負おしとやう言歌やう
 ちよんとありふはゆるを鑑盾も

つんをいよ

唐土乾隆五十
 日本天明五年
 己巳初春

唐来文と和



狂言鴛鴦集

全 二冊
は書へあくの
程分秀逸を
あしりませ

ムスコヒヤ

全 一冊
は書ハけいせいの
ゆいさのあのみち
柳花子さきりく
ゆとほくさく

狂詩選諺解

全 一冊
四のりまのち
とあしりまに
くはとあます

新美人合自筆鑑

全 一冊
彩を標
美を象
傾塚乃
自筆鑑
わしりませ

味唐珍解

全 一冊
唐去の若手回
の括えあさた乃
あけやうてあま
とあます

新東海道狂歌名所雙六

全 一冊
とろりなす
さいりませ

耕書堂

江戸通油町

葛屋重三郎 梓

